

会員一人ひとりが火災予防に関心を持って頂き、まずは会員の家庭から火事を発生させない事が重要だと考えています。

最後に、女性消防協力会会員としての自覚を持って防火防災に努め「自分の家から火を出さない」をモットーに「安心安全な住みよい街」にしていきたいと願っています。

コロナ禍における活動について

邑楽町女性消防隊

隊長 浦野 美子

皆様には日頃より邑楽町女性消防隊に対しまして、ご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

私たちの住む邑楽町は群馬県の南東に位置し白鳥飛来地の多々良沼があり、住みよい町と言われています。

邑楽町女性消防隊は、女性が火災予防の重要性を認識し、各隊の相互連絡と隊員間の健全な発展を図り防火思想の普及を通じて地域社会の福祉の増進に寄与することを目的に結成されています。

皆さんご承知のとおりここ数年、新型コロナウイルス感染が猛威を振るい、感染拡大防止の観点から、当女性消防隊も各種行事が中止、縮小が余儀なくされるような活動が出来ない状態です。

そんな中、令和3年度に邑楽町総合防災訓練が行われ、例年ならば地域住民の皆さんに应急演练や初期消火訓練を指導していましたが、多くの地域住民に集まってもらうことが出来ず指導することも出来ませんでした。

しかし、各家庭でも出来る「低く・頭を守り・動かない」というシェイクアウト訓練を邑楽町と協力

して実施しました。

令和4年度は感染防止対策をしながら、女性リーダー防災講習会を開催することが出来ました。「家庭から火事をださない」をスローガンに火災予防や水害時の避難方法などを分かりやすい指導のもとに勉強しました。そのなかで、実際の炎（ガス火）を



使用しての消火訓練は臨場感があり、皆さんと共に火災の恐ろしさや、消火器の使い方を習うことができました。

これからも、邑楽町から一件でも火事が少なくなるよう予防消防に努め、消防団と共に地域防災の要として活動していきたいと思います。



館林消防公式ホームページ
<https://www.fire-tatebayashi.jp/>



さまざまな情報を発信中

発行

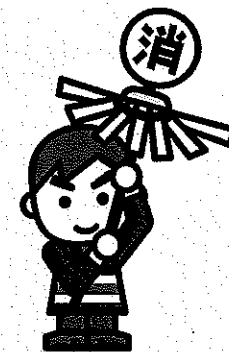
群馬県女性防火クラブ連絡協議会
事務局

群馬県前橋市大手町1-1-1

編集

館林地区女性防火クラブ

(館林地区消防組合消防本部予防課内)



館林地区 女性防火クラブだより



R4 秋季点検にて



女性防火クラブは、家庭における火災予防に関する知識の習得、地域全体の防火意識の高揚などを目的に活動している組織です。



contents

- ・コロナ禍の活動を振り返る 亀山 みち子……………2
- ・千代田町女性消防協力会 防災講習会に参加して 石黒 利枝……………2
- ・女性消防隊のこと、ご存じですか 松岡 真澄……………3
- ・コロナ禍における活動について 浦野 美子……………4
- ・の活動について 森原 文枝……………3
- ・コロナ禍における活動について 浦野 美子……………4

コロナ禍の活動を振り返る

館林市女性防火クラブ連合会
会長 亀山 みち子

館林市女性防火クラブ連合会は、1964年に設立しました。紫色の制服の誕生です。「自分の家から火事を出さない」「地域から火事を出さない」を理念の下に、地域の防火防災に努めています。

主な活動は、館林まつり・出初式・市の総合防災訓練・産業祭参加・役員研修会などで、火災予防週間中は広報活動として地域の見回りもしています。

また、消防団の皆様との交流もさせていただいています。

このような活動が一変したのは、2020年3月からでした。新型コロナウイルス感染症の拡大により行事の中止の連絡が相次ぎ、私達の活動は止まってしまいました。辛く長い3年間で、今まで通例とされていた行事が出来ないもどかしさは焦りとなっていきました。そんな中、少しずつ状況が変わって来ました。感染防止対策として内容を精査して、人数を分散し、時間の短縮を図ることで「防災講習会」の開催をすることができました。

開催にあたり、事務局の皆様にご多大なるご指導を頂きました。感謝申し上げます。

それから、11月12日には、商業施設にて、住宅用火災警報器の普及活動を行いました。当日は、楽天イーグルスの岡島豪郎選手が、「一日消防長」に扮し、パンフレットを手渡ししながら住宅用火災警報器の重要性を伝えて下さりました。

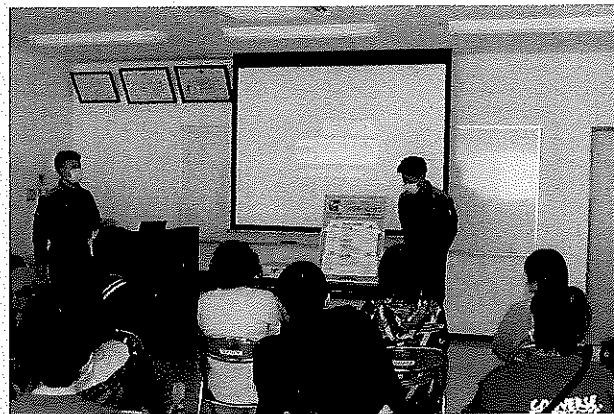


私達は、この3年間の経験を踏まえ、「住宅防火の必要性」についても一度考えなおし、今後の女性防火の活動に繋げて行きたいと思っています。

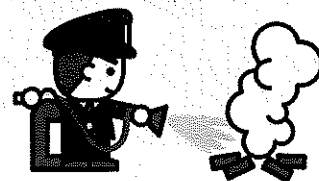
防災講習会に参加して

板倉町女性防火クラブ連合会
会長 石黒 利枝

私の住む板倉町は、「つる舞う形の群馬県」のくちばし部分にあり、栃木・埼玉・茨城との県境に位置しています。田畑が広がり、利根川と渡良瀬川に挟まれた、歴史ある水場の景観が豊かな町です。私は令和3年4月に会長に就任しました。令和3年度は、火災予防週間の地域における広報活動、防災講習会、視察研修等を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により行事の大半が中止となり、思うように活動できませんでした。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況も落ち着いた10月に、当町で開催された館林地区消防組合の秋季点検に参加しました。11月には3年ぶりに防災講習会が開催され、家庭における火災予防に関する講話で知識を習得し、初期消火訓練や煙体験等を経



験することができました。その中で、住宅用火災警報器の設置や維持管理、ガスコンロの自動安全装置等、参加会員の各家庭の防災状況も確認することができました。火災時、落ち着いて安全に行動するための知識や心構え、準備が大切だと改めて感じ、大変有意義な講習会となりました。今後も「自分の家庭から火事を出さない」をスローガンに、消防署や関係団体との連携を図り、火災予防の啓発、地域の防災意義を高めることを目的に、積極的に活動していきたいと思っています。



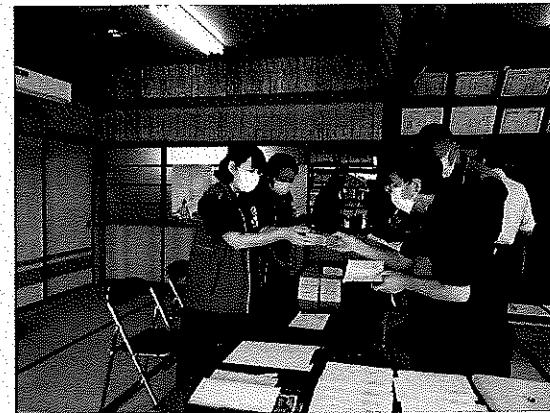
女性消防隊のこと、ご存知ですか

明和町女性消防隊
隊長 松岡 真澄

地域の皆様には明和町女性消防隊に対しまして、深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が未だ終息を見ない中、ここ数年は各行事やイベントが中止となり、活動が非常に困難となっていますが、防火思想の普及のために感染防止対策を徹底し、工夫をしながら少しでも出来る活動を行っています。

そのような状況の中、館林地区の住宅用火災警報器の設置率が伸び悩んでいることから、明和町の設置率向上のため「住宅用火災警報器設置促進事業」を立ち上げ実施いたしました。



明和町16行政区の区長の皆様のご協力のもと、地域の回覧版を活用し住宅用火災警報器の義務化・重要性をあらためて町民の皆様へ周知すると共に、安価で質の良い物を提供できるように共同購入のご案内をしたところ、多くの町民の皆様のご理解を頂き、設置率向上に一役買うことが出来ました。

令和4年8月28日(日)には、3年ぶりに開催された第26回明和町総合防災訓練に参加、煙体験ブースを担当し、来場者の方々に煙の充満する中での視界や行動について体験してもらうことで、あらためて火災の怖さを実感してもらいながら、住宅用火災警報器の設置促進のPRもさせて頂きました。ここでも、火災での犠牲者を無くすためには火災を

早期に発見して逃げる事が大切であり、そのために住宅用火災警報器の設置が重要であることを伝える事ができたと感じています。

今後も設置率100%を目指して事業を続けて参りますので、地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、女性消防隊は家庭からの火災発生の撲滅を使命として活動しています。女性消防隊に携わることで防火への意識が向上し、火災を出さない、火災での犠牲者を出さないと言う思いが強くなります。そして全ての災害への備えと対応力向上へと繋がっていきます。是非地域の皆様も明和町女性消防隊に参加していただき、一緒に地域の防火・防災に努めていただければと思います。

千代田町女性消防協力会の活動について

千代田町女性消防協力会
会長 森原 文枝

私の住む邑楽郡千代田町は、自然と文化が調和する水と緑の豊かな町です。

私が会長に就任したのは、令和4年4月からになりますが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、協力会の活動が中止になっており、協力会が出来る活動を消防署の方たちに相談し模索しているところです。その中で千代田町女性消防協力会としては、



新型コロナウイルス感染症蔓延以前に実施していた会員を対象にした「防災講習会」の実施を考えています。この講習会は、救命講習会や家庭の火災予防を学ぶものです。協力会としての活動が厳しい中、